

様式第2（第18条関係）

2020年度 上期放射線管理等報告書

五島育英発2020第 108 号  
2020年 10 月 19 日

原子力規制委員会 殿

住 所 東京都渋谷区道玄坂一丁目10番7号  
名称及び代表者の氏名 学校法人 五島育英会  
理 事 長 高橋 遠

核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第67条第1項及び試験研究の用に供する原子炉等の設置、運転等に関する規則第18条第1項の規定により次のとおり報告します。

工場又は 事業所	名 称	東京都市大学原子力研究所
	所 在 地	神奈川県川崎市麻生区王禅寺971番地

1 放射性廃棄物の廃棄の状況

(1) 気体状の放射性廃棄物に含まれる放射性物質の放出量及び濃度(注1)

①放射性物質の種類別の年間放出量

(単位:Bq)

測定箇所等		種類	全希ガス		<sup>131</sup> I	<sup>133</sup> I	全粒子状物質	<sup>3</sup> H
				<sup>41</sup> Ar				
排気口 又は 排気監視設備	排気塔							

②放射性物質の濃度の3月間についての平均値及び最高値

(単位:Bq/cm<sup>3</sup>)

測定箇所		濃度	前半の3月間(4月~6月)		後半の3月間(7月~9月)	
			平均値 (Bq/cm <sup>3</sup> )	最高値(注2) (Bq/cm <sup>3</sup> )	平均値 (Bq/cm <sup>3</sup> )	最高値(注2) (Bq/cm <sup>3</sup> )
排気口 又は 排気監視設備	排気塔		放出実績 なし	放出実績 なし	< 1.1 × 10 <sup>-10</sup>	< 1.1 × 10 <sup>-10</sup>

(2) 液体状の放射性廃棄物に含まれる放射性物質の放出量及び濃度(注1)

①放射性物質の種類別年間放出量

(単位:Bq)

種類		全核種 ( <sup>3</sup> Hを除く)	核種別			
			<sup>51</sup> Cr	<sup>54</sup> Mn	<sup>59</sup> Fe	<sup>58</sup> Co
排水口 又は 排水監視設備	—					
合計						
年間放出管理目標値						

(単位:Bq)

種類		核種別					
		<sup>60</sup> Co	<sup>131</sup> I	<sup>134</sup> Cs	<sup>137</sup> Cs	<sup>89</sup> Sr	<sup>90</sup> Sr
排水口 又は 排水監視設備	—						
合計							
年間放出管理目標値							

(単位:Bq)

種類		核種別		
		アルファ線を放出する 放射性物質	ベータ線を放出する 放射性物質	<sup>3</sup> H
排水口 又は 排水監視設備	—			
合計				
年間放出管理目標値				

②放射性物質の濃度の3月間についての平均値及び最高値

(単位:Bq/cm<sup>3</sup>)

濃 度		前半の3月間 (4月~6月)		後半の3月間 (7月~9月)	
		平均値 (Bq/cm <sup>3</sup> )	最高値(注2) (Bq/cm <sup>3</sup> )	平均値 (Bq/cm <sup>3</sup> )	最高値(注2) (Bq/cm <sup>3</sup> )
測定の箇所					
排水口 又は 排水監視設備	—	該 当 な し <sup>1)</sup>			

1):平成22年2月25日付の廃止措置計画の変更認可に基づき、液体廃棄物の廃棄設備は機能停止し、その後、平成23年9月16日付の廃止措置計画の変更認可に基づき、同設備は解体撤去し、平成24年3月に完了した。

(3) 液体状の放射性廃棄物の保管量等(注3)

(単位:m<sup>3</sup>)

施設の名称	武蔵工大原子炉施設	施設合計
放射性液体廃棄物の種類		
量		
前年度末保管量		
当該年度発生量		
当該年度の減少量		
施設内減量		
施設外減量		
当該年度末保管量		
保管設備容量		

(4) 固体状の放射性廃棄物の保管量等(注4)

(単位:本)

施設の名称	武蔵工大原子炉施設					施設合計
	濃縮 廃液 固化物	フィルタ スラッジ	イオン 交換 樹脂	雑固体	その他	
放射性廃棄物の種類						
量						
前年度末保管量						
当該年度の発生量						
当該年度の減少量						
施設内減量						
施設外減量						
当該年度末保管量						
保管設備容量						

2 使用済燃料の貯蔵量等

(単位:体)

施設の名称	東京都市大学原子力研究所	合計
使用済燃料の種類		
前年度末貯蔵量		
当該年度の発生量		
当該年度の搬出量		
搬出先の名称		
当該年度末貯蔵量		
貯蔵施設容量		

3 放射線業務従事者の線量分布(注5)

(1) 放射線業務従事者の1年間の線量分布

線量 放射線 業務従事者	線量分布(人)				
	0.1mSv 以下	0.1mSvを超え 1mSv以下	1mSvを超え 2mSv以下	2mSvを超え 5mSv以下	5mSvを超え 10mSv以下
職員					
その他					
合計					

線量 放射線 業務従事者	線量分布(人)				
	10mSvを超え 15mSv以下	15mSvを超え 20mSv以下	20mSvを超え 25mSv以下	25mSvを超え 30mSv以下	30mSvを超え 35mSv以下
職員					
その他					
合計					

線量 放射線 業務従事者	線量分布(人)				
	35mSvを超え 40mSv以下	40mSvを超え 45mSv以下	45mSvを超え 50mSv以下	50mSvを超え るもの	合計
職員					
その他					
合計					

放射線 業務従事者	線量		
	総線量 (人・mSv)	平均線量 (mSv)	最大線量 (mSv)
職員			
その他			
合計			

(2) 女子(妊娠不能と診断された者及び妊娠の意思のない旨を試験研究用等原子炉設置者に書面で申し出た者を除く。)の放射線業務従事者の3月間の線量分布

放射線 業務従事者	線量	線量分布(人)			
		0.1mSv 以下	0.1mSvを超え 1mSv以下	1mSvを超え 2mSv以下	2mSvを超え 5mSv以下
前半の3月間 (4月～6月)	職員	1	0	0	0
	その他	—	—	—	—
	合計	1	0	0	0
後半の3月間 (7月～9月)	職員	1	0	0	0
	その他	—	—	—	—
	合計	1	0	0	0

放射線 業務従事者	線量	線量分布(人)		総線量 (人・mSV)	平均線量 (mSv)	最大線量 (mSv)
		5mSv を超えるもの	合計			
前半の3月間 (4月～6月)	職員	0	1	0	0.0	ND
	その他	—	—	—	—	—
	合計	0	1	0	0.0	
後半の3月間 (7月～9月)	職員	0	1	0	0.0	ND
	その他	—	—	—	—	—
	合計	0	1	0	0.0	

4 試験研究用等原子炉の運転時間及び熱出力(注6)

[試験研究用等原子炉の名称：武蔵工大炉]

月 別	項 目	運転時間 (h)	熱 出 力	
			平均 (kW)	最大 (kW)
	4 月	——	——	——
	5 月	——	——	——
	6 月	——	——	——
	7 月	——	——	——
	8 月	——	——	——
	9 月	——	——	——
	合計	——	——	——

廃止措置中（平成 16 年 1 月 27 日 解体届け提出、平成 19 年 6 月 6 日 廃止措置計画認可）、  
平成 22 年 2 月 25 日 廃止措置計画の変更認可、平成 23 年 9 月 16 日 廃止措置計画の変更認可